

場所：桜美林大学
ブルヌスホール

日程：十二月十六日（金）
十七日（土）

京劇 白蛇伝 他

OPAL

指導・演出

袁英明

桜美林大学准教授／京劇女優

馬征宏

桜美林大学兼任講師／京劇俳優

主催：桜美林大学
企画制作：桜美林大学芸術文化学群演劇専修
協賛：桜美林大学孔子学院



【京劇とは】

東洋演劇の代表的な伝統舞台芸術の一つであり、中国の国劇である。世界無形文化遺産に登録されている。京劇は文学、音楽、歌唱、舞踊、ドラマ、美術、立回り、雑技など多様な芸術形式と内容を含む総合芸術であり、中国の伝統的な道徳観および倫理観が表象され、中国文化が凝縮されている芸術である。それは型、様式美を追求する東洋伝統演劇の特徴を表し、見得や隈取、トンボを切るなど、特に日本の歌舞伎とも類似性を持つ。また、象徴的な表現に関しては日本の能とも共通している。

演目紹介

「三岔口」サンチャコウ

中国では『三国演義』と並ぶ名作『楊家将演義』の一節。時は宋代。場所は題名の三岔路にある宿屋。楊家の将軍を守るために、誤解が元で発生した仲間同士の死闘が始まるが、結果は如何に…。京劇ならではの暗闇中の激しい立回りが見どころ。桜美林大学京劇発表会の定番演目である。緊張感が溢れ、手に汗握る作品。

「座楼殺惜」ザロウサツセキ

中国四大奇書の一つとされる『水滸伝』のエピソード。宋代、後に梁山泊の英雄となる宋江の妾・閻惜姣は、密かに宋江の弟子・張文遠と浮気をし、二人で結婚しようと企んでいた。閻惜姣の運命はどうか。せりふとしぐさという演技を中心に展開して行き、息をのむ暇もない緊迫感を持ちながら鑑賞できる味わい深い演目である。

「拾玉鐲」シュウギョクショク

明代の物語。散歩に訪れた青年と出会い、恋に落ちた少女の心の動き、刺繍や鶏の世話などの細かな表現、京劇の特徴が存分に表れている演目で、世界的によく紹介されている作品。パントマイムを中心とした心置きなく笑える人情劇である。

「白蛇伝」ハクジャツデン

美しくも健気な一途の愛と冒険の神話劇。日本でもよく知られている物語。正体を隠したまま人間の若者・許仙と夫婦になり、幸せに暮らしていた白素貞（白蛇の精）は夫を救うため、必死に仙山を守護する仙人に、妹の小青（青蛇の精）と共に長江の水族を率いて金山寺を守る神々に挑むことに…。果たして白素貞の純粋な愛はどういう結末になるのだろうか。許仙の運命は。歌、舞、セリフ、立回り、しぐさ、すべてを含んだ京劇の総合芸術の粋を楽しめる演目。

出演者

井上博美(4) 岡島瑤(4) ●久保賢大(4) 佐々木智美(4) 田中亚実(4) 橋本美陽(4) 山野上由夏(4) 出雲航(3) 河合あかり(3) 木村溪(3) 佐々木誠(3) 徐照翔(3) ●鷹雄葉月(3) 竹内李花(3) 多田将規(3) 董俊博(3) ○遠田風馬(3) 永島将伍(3) 古屋由季(3) 谷中萌奈美(3) ロサリオ香蓮(3) 渡辺杏奈(3) 伊藤智穂(2) 今井海斗(2) 遠藤舞(2) 大島亜実(2) 笠松詩織(2) 神谷有華子(2) 小林和樹(2) 佐藤琴美(2) 霜越莉々子(2) 高島涼花(2) 寺田楓(2) 西山梨香(2) 針生莉沙(2) 宮塚拓海◎ 及川美晴(1) 上沢一矢(1) 川崎理歌(1) 北竜太(1) 橋本達(1) 星野有香(1)

※()内の数字は学年 ※●…音楽専修 ○…映画専修 ◎…科目等履修生

楽師 ※全演目生伴奏

蔣莘(京劇の最高学府・中国戯曲学院教授、国家一级京胡演奏師)、洪剛、葉向東、滕放、山下輝彦、王明君、金虹、李海波

化粧師

李景芬(京劇の最高学府・中国戯曲学院附属学校高級講師、主任舞台技師〔化粧師〕)

スタッフ

舞台監督:齋藤元太(桜美林大学パフォーマンス・インスティテュート) 照明:上野瑞穂(3) 音響:北林めい(3)
舞台美術:鬼木美佳(3)(造形デザイン専修) 衣裳:安達舞(3) 宣伝美術:泉川遥香(3) 制作:田中亚実(4)

日程

12月16日(金)

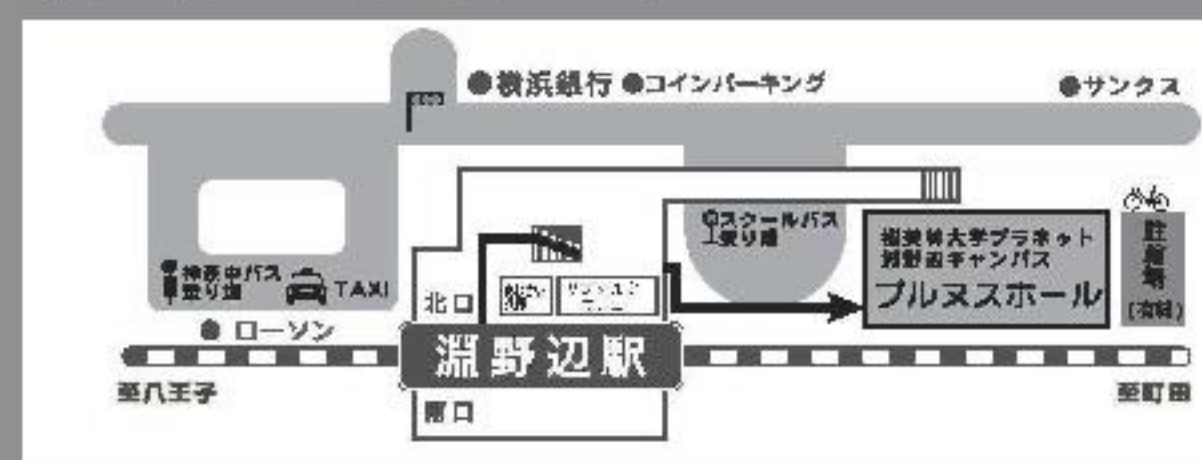
19:00 「三岔口」「座楼殺惜」「白蛇伝」

12月17日(土)

13:00 「三岔口」「座楼殺惜」「白蛇伝」

18:00 「三岔口」「拾玉鐲」「白蛇伝」

会場 桜美林大学プルヌスホール



〒252-0206
神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1 桜美林大学PFC内1階
※JR 横浜線淵野辺駅徒歩1分

料金

一般 1000円

学生 500円

※当日券各200円増

※学生は当日受付にて要学生証提示

※芸術地域通貨ARTS使用不可

ご予約

【MAIL】 kyogeki_opal@yahoo.co.jp

ご予約の際は件名を「チケット予約」とし
①お名前②フリガナ③観劇希望日時④券種⑤枚数⑥連絡先
を明記の上、上記アドレスまでお送りください。
こちらからの返信をもってご予約完了となります。
予約開始日:10月9日(日)

お問合せ

演劇事務室
TEL 090-9835-5277 (制作部直通:アズマ)(平日18時~21時)
FAX 042-704-7013 (24時間受付)